

やまびこ

vol.50
2017.03

題字／坂本昭文

まちとむら 未来をひらく 広域連合
南部町 伯耆町 日吉津村



素敵なまち、それは
あなたのまちです。

- 広域連合長就任あいさつ／議会議員構成…………… 2
- 認知症 SOS ネットワーク模擬訓練を実施しました …… 6
- 平成 29 年度予算の概要…………… 3
- 認知症予防講演会を開催しました…………… 7
- 医療と介護の連携で在宅生活を支えます…………… 4
- 権利擁護研修会を開催しました／介護保険の運営状況 …… 8

南部箕蚊屋広域連合長 就任のあいさつ

任期満了に伴う南部箕蚊屋広域連合長選挙の結果、
陶山 清孝 南部町長が、広域連合長に就任しました。



私は昨年 10 月 24 日に南部町長に就任し、はからずも南部箕蚊屋広域連合の連合長に就任することになりました。元より浅学非才でありますので何かとご指導ご鞭撻を頂きますようお願いを申し上げます。

さて、私たちの広域連合は介護保険サービスを共同運営することによって、しっかりとした財政基盤を構築することで、安定したサービスを出来るだけ低負担で地域住民の皆様を提供することを目的に、平成 11 年 7 月に産声を上げました。本年は満 18 年を迎えようとしています。これまで多くの皆様のご努力と住民の皆様のご理解を頂き、人口減少と超高齢社会の進展という介護保険

運営にとって厳しい社会情勢の中にあっても、県下で最低水準の保険料で安定した介護保険サービスを提供してきました。このことは、設立当初からの願いであり、広域連合で運営してきた最大の成果だと考えています。

本年は3年を1期とする介護保険事業計画第6期の最終年、そして第7期に向けた準備検討の大切な年になります。介護保険制度は発足以来めまぐるしく変化しておりますが、この地域に安心して暮らし続けるための大切な制度として、今後とも安定した運営とサービスの維持をおこなわなければなりません。住民の皆様のご期待に応えられるよう職員一丸となって努力をしておりますので、これまでと変わりませずご支援いただきますよう切にお願い申し上げます。

南部箕蚊屋広域連合長 陶山 清孝

南部町議会議員の改選によって議会の構成が変わりました。

副議長に 秦 伊知郎 議員（南部町）が選出されました。

町村名	氏名
南部町	景山 浩 議員、秦 伊知郎 議員、真壁 容子 議員、細田 元教 議員
伯耆町	乾 裕 議員、幅田千富美 議員、幸本 元 議員、篠原 天 議員
日吉津村	井藤 稔 議員、橋井 満義 議員

南部箕蚊屋広域連合 平成29年度予算

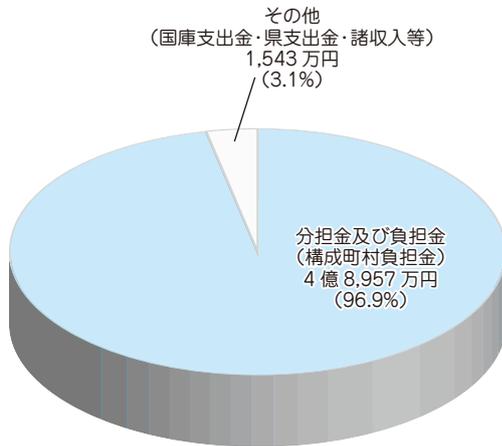
2月20日に開かれた南部箕蚊屋広域連合議会2月定例会で平成29年度の一般会計、介護保険事業特別会計予算が可決されました。



一般会計

■総額 5億500万円（前年度対比 932万円の増額）

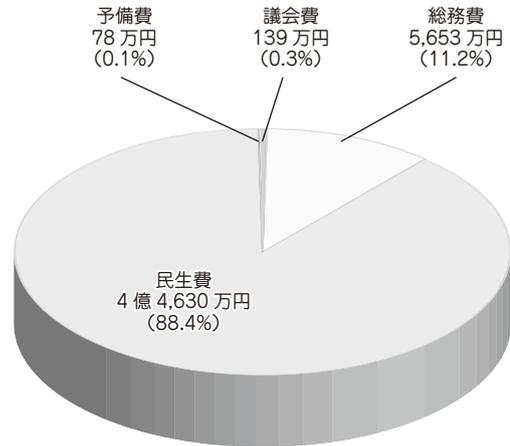
■歳入



主なものは、構成町村からの負担金です。保険給付費の伸び等により、前年度と比べ2.3%増の4億8,957万円を計上しています。

また、平成28年度と同様に、低所得者の介護保険料を軽減するための公費を国庫支出金、県支出金、構成町村負担金に計上しています。

■歳出



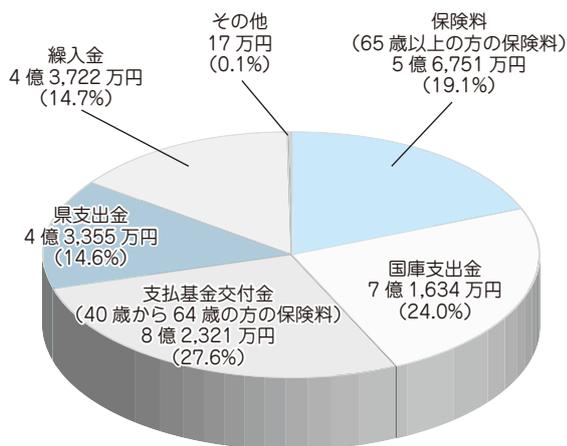
主なものは、民生費に含まれている介護保険事業特別会計繰出金3億9,404万円です。

民生費では、その他に地域包括支援センター職員の人件費や、事業所が行う低所得の利用者の利用料軽減についての補助金などを計上しています。

介護保険事業特別会計

■総額 29億7,800万円（前年度対比1億800万円の増額）

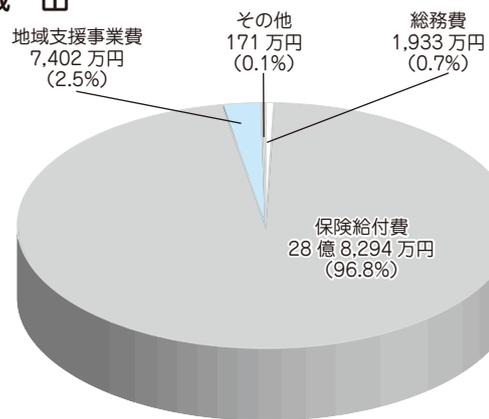
■歳入



保険料は、前年度と比べ1.2%増の5億6,751万円を見込みました。

また、歳出の介護給付費や地域支援事業費の増額に伴い、国庫支出金や支払基金交付金などを増額しています。

■歳出



保険給付費は、前年度と比べ3.2%増の28億8,294万円を見込みました。保険給付費の主な内訳は、要介護認定を受けた方が介護保険サービスを利用されたときの費用26億2,783万円、低所得者の入所サービスの食費等の負担を軽減するための費用1億2,506万円などです。

地域支援事業費では、認知症初期集中支援事業の実施等により、7,402万円を見込みました。

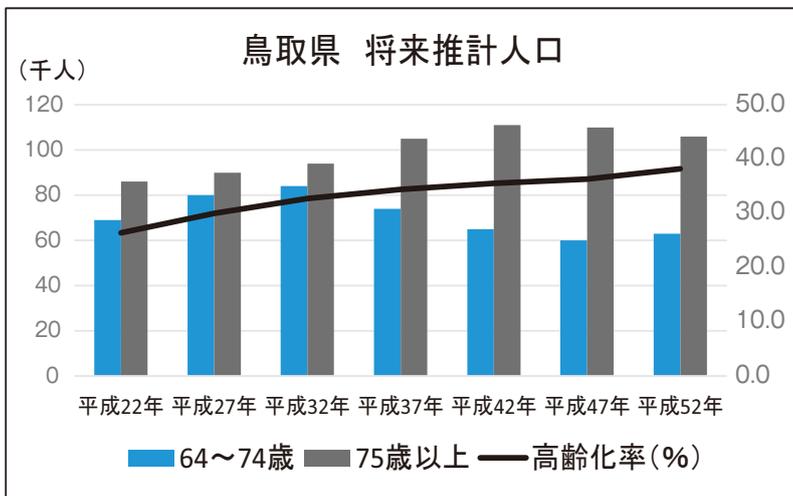
医療と介護の連携で在宅生活を支えます

～在宅医療・介護連携について～

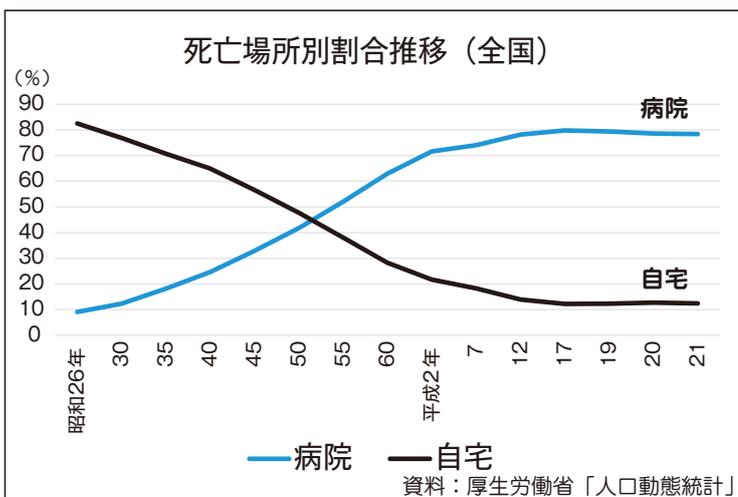
高齢社会が急速に進み、病院で長い入院生活を送る方が増えています。

しかし高齢になってもできるだけ住み慣れたご自宅、地域で安心して生活することを望む方は多くおられます。

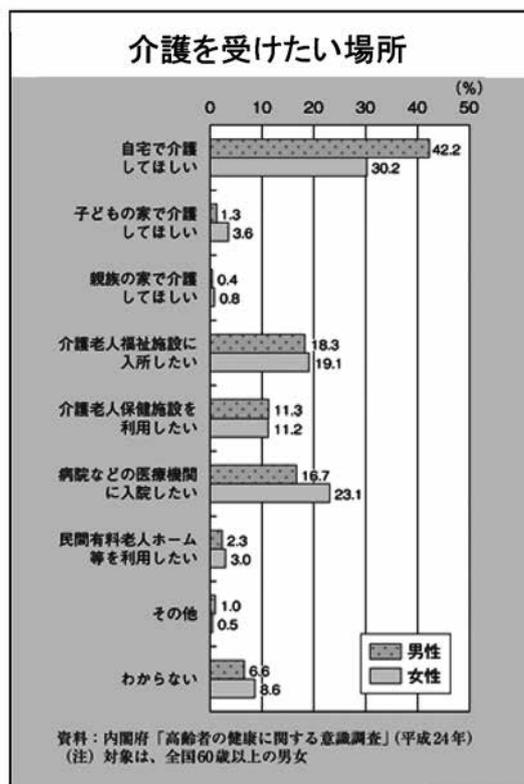
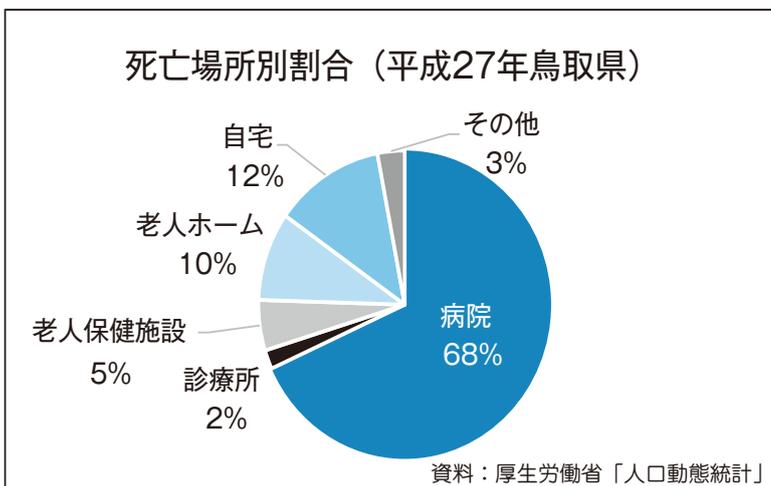
そこで、医療・介護などの専門家が連携し、住み慣れた地域での生活を支える取り組みを進めています。



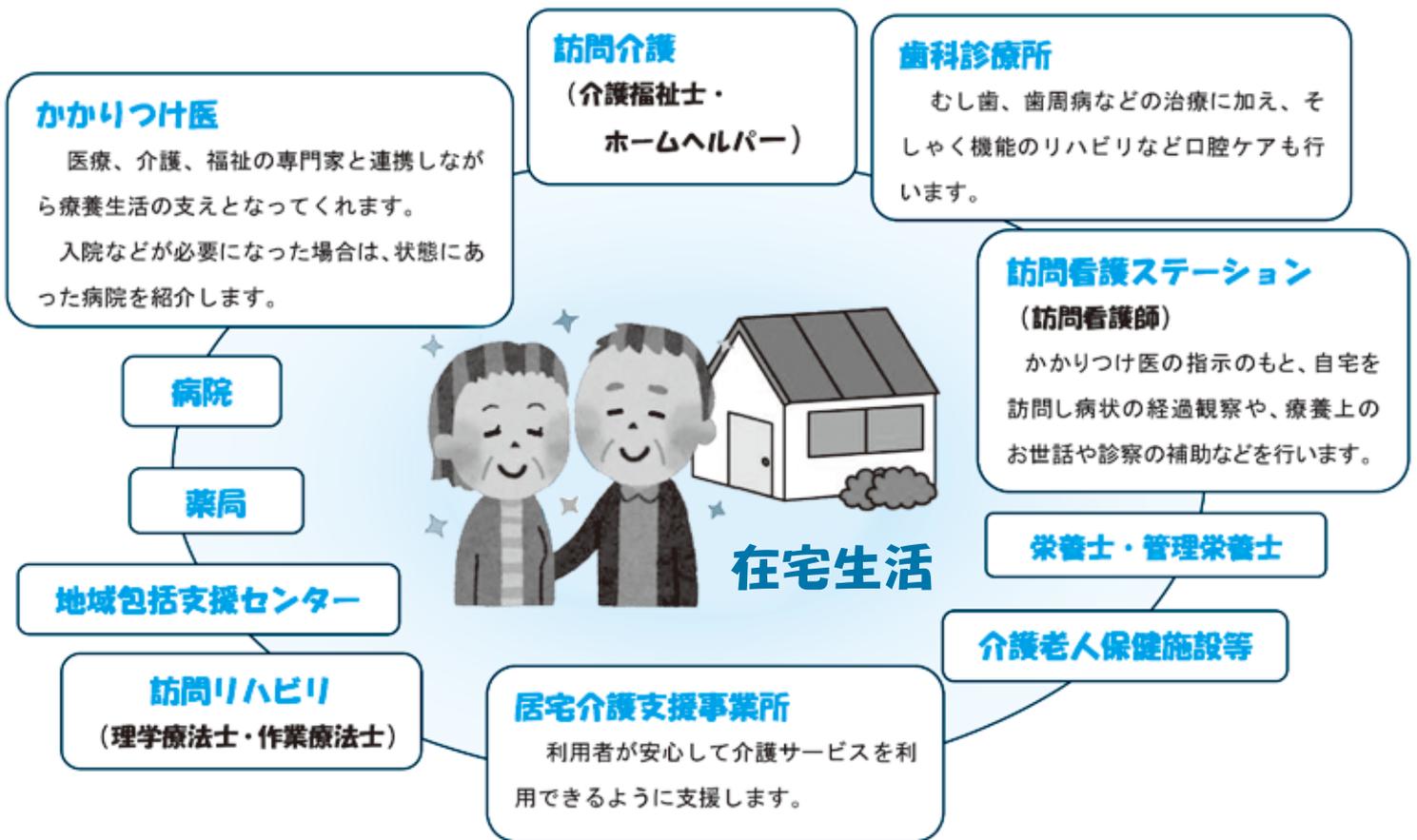
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」



以前は自宅での看取りが8割でしたが、現在は1割と減少しました。
一方、自宅で過ごすことを望む方は多くおられます。



在宅での療養を支える医療・介護の関係機関



Q 在宅医療を受けたいときは、どこに相談すればいいですか？

A. お住まいの町村の、地域包括支援センター、かかりつけ医へご相談ください。



地域包括支援センターは、住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けることができるよう、さまざまな方面から高齢者の皆さんを支える機関です。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが配置されており、互いに連携を取りながら「チーム」として皆さんを支えます。

【問合せ先】

南部地域包括支援センター
南部町役場健康福祉課内
(健康管理センターすこやか)
電話：66-5524

伯耆地域包括支援センター
伯耆町役場健康対策課
生活相談室内
電話：68-4632

日吉津地域包括支援センター
日吉津村役場
福祉保健課内
電話：27-5952

高齢者のみなさんの生活を支援します

認知症SOSネットワーク模擬訓練を実施しました

南部箕蚊屋広域連合では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、認知症の方とご家族を地域で支える取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして昨年度から、認知症の人が行方不明になった場合を想定しその方を早期発見できるように搜索や声かけを行う“認知症 SOS ネットワーク模擬訓練”を実施しています。

今年度は平成28年11月20日（日）に日吉津村富吉自治会で模擬訓練を実施しましたので、その様子をご紹介します。

模擬訓練 導入の寸劇

認知症の妻が家にいないことに気づき、自治会長に相談をする…という設定で寸劇を行い、模擬訓練が始まりました。



行方不明になったとわかったら、早めに警察に相談をしましょう。



早期発見のためには地域の方の協力がぜひとも必要です。また、自治会の搜索に協力するため、消防団も合流しました。

模擬訓練 搜索の様子



行方不明者発生の防災無線が流れたら、各グループの集合場所に集まります。搜索方法や声かけ、対応のポイントについてなど、確認をします。



搜索開始です。
どのような場所を、どのように探したらいいのかわからない…悩む姿も見られました。



まさかこんな場所に…？
普段は人が歩かないような場所も、念入りに探しています。



自治会の地域本部では、搜索グループと連絡を取り合いながら、状況を確認しています。連絡方法についてなど、連携の課題も見えてきました。



よく似た服装の方を見かけたので、驚かせないように、一人で声をかけてみます。
みなさん、積極的に声をかけておられました。



道がわからなくなり、うずくまっているところを発見、無事に保護できました。行方不明者本人はとても不安な様子…安心できるよう、ゆっくり、やさしく声をかけておられました。

訓練には地域の方をはじめ、米子警察署や日吉津村消防団の方々にもご参加いただきました。この模擬訓練をきっかけに地域のネットワークが広がり、認知症の方やご家族が安心して住み続けることができるまちづくりを進めていきたいと思っております。

認知症予防講演会を開催しました



平成28年12月17日、伯耆町農村環境改善センターで『認知症予防講演会』を開催しました。

前半は、伊勢真一監督作品ヒューマンドキュメンタリー映画「妻の病—レビー小体型認知症—」の上映をしました。誰にでも起きる可能性のある認知症という病。愛する人が認知症になったとき、自分自身が認知症になったとき、一体何が大切なのか……。私たちひとりひとりに深い問いを投げかけた内容でした。

また後半は、伊勢真一監督にご講演いただきました。監督は、「今この時間を一緒に生きている話であるからこそ心に響く映画になった。同じ立場にある方々にこの映画が応援歌として届けられたら嬉しい」と話され、映画に対する想いを聴くことで、とても温かく優しい気持ちになりました。



講演会にご参加いただいたみなさんからの声です

認知症の人の苦しみやそばにいる家族の想いに共感し、今この瞬間も共に生きているんだろうという思いを強く感じました。

人としての在り方、夫婦としての在り方、病になって初めて気付くお互いの存在が愛しく、大切であることを映像を通して感じました。

認知症の方の「心の中を知る」という言葉が残りました。

その人の気持ちに寄り添うことがとても大切であると感じました。その人が明るく気持ちよく過ごせたら幸せだと思います。

会場1階では、伯耆町内4団体による「ほっと♡カフェ」を開きました。

コーヒーやハーブティーのおもてなしに心温まり多くの方で賑わいました。



権利擁護研修会を開催しました



平成28年12月2日、南部町役場天萬庁舎富まんでんホールで「権利擁護研修会」を開催し、専門職を対象に44名の方に参加いただきました。

講師に中部成年後見支援センターから、相談支援員（社会福祉士）津村尚子氏を迎え、「高齢者虐待の早期発見・対応について学ぶ」というテーマでご講演を頂きました。

講演の中では、訪問やサービス提供をする介護支援専門員や事業所は、虐待を発見しやすい状況にあるので、高齢者虐待の視点を常に持ちながら関わり、おかしいと思ったら1人で様子を見るのではなく、地域包括支援センターや行政へまず相談することが重要（虐待の判断は市町村の責務）であるとお話がありました。



南部箕蚊屋広域連合介護保険の運営状況



第1号被保険者数（65歳以上）		総人口	高齢化率
平成28年12月末	8,738人	25,957人	33.7%
昨年同月との比較	120人	-154人	0.7%

要支援・要介護認定者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成28年12月末	100人	249人	306人	345人	238人	208人	241人
昨年同月との比較	-13人	-10人	15人	16人	1人	-26人	27人

※要支援1⇒2⇒要介護1⇒2⇒・・・⇒5の順に介護状態が重くなります。

介護保険給付の状況 (平成28年12月利用分)	施設	在宅	合計
利用人数	356人	912人	1,268人
費用総額	1億813万円	1億1,286万円	2億2,099万円
1人当たりの費用額	303,734円	123,747円	174,280円